



日本共産党 京都市議員
ひぐち英明
議会報告

ホームページ <http://www5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/>

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

こんにちは ひぐち英明です

第218号 2012年10月1日 連絡先:日本共産党左京地区委員会 TEL761-6341
:左京生活相談所 TEL781-6622

山の保全是行政の緊急課題 ～豪雨対策の課題は山積～



クリーンセンター横のバイパスに流出した土砂

7月15日の豪雨による被害は、山からの土砂や水による被害が多く見られました。

市原のクリーンセンター横のバイパスに、沢からの土砂が大量に流出したのも、その一例です。

山の木が売れなくなって久しく、その結果、山に手が入らないまま荒れてしまって、今回のような豪雨の際に崩れてしまうという事態は左京でも繰り返し起こっています。こうした事態を改善するためにも、「山の保全」という観点から行政の支援が



この沢の土砂がバイパスに流出
沢から水路への入口が土砂で埋まってしまっている



その後、土木事務所が水路付近の土砂は搬出
しかし、その奥の沢は今にも崩れそうなおぼろげなまま
で、今後の雨で、同様の被害が発生する恐れ
が残る

必要という事を、私は議会でも繰り返し求めてきています。

もちろん、林業振興ということが一番の解決策ではありますが、ここへの力を入れることも求めています。今はそれだけでなく、市民の命を守ること、さらには水害の対策を図るという点からも、「山の保全」への行政の支援が強く求められています。

左京のように、面積の大半が中山間地という特徴を持っている地域ではより切実な課題です。

負担増押し付けを跳ね返そう ～「京プラン実施計画」は撤回を～

京都市は10年間の方針である基本計画(2011年～2020年)を「京プラン」と名付けています。その前半の具体化である「実施計画」(2012年～2015年)が今年3月に策定されました。

この内容は、国が「税と社会保障の一体改革」を進めようとしている、社会保障の切り捨てと国民負担の押し付けの京都版と言えるものです。具体的には、市の社会保障費を毎年25億円削ることをはじめとした4年間で250億円の削減計画、低所得世帯

への市税減免制度の廃止等の負担増などです。このほかにも、敬老乗車証の見直し、市立保育所の民営化、大気汚染対策や市民防災センターの見直し等々、市民生活に重大な影響や負担増を押し付け



市民集会では市議団を代表して井坂副団長が報告する計画が目白押しです。

■ 運動を盛り上げ、負担増を跳ね返そう

9月13日には、共産党市会議員団と市職員労働組合などが共催して「異議あり、『京プラン』」という市民集会が開かれ、220人の市民が参加しました。集会では、それぞれの分野の方々から市政告発の発言があり、力を合わせてプランの実施をやめさせようとの思いを固めました。

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長男(小6)は野球を頑張っていますが、野球より前に始めたピアノも続けています。年に2回、ピアノの発表会がありますが、その前の時期は発表曲の完成度を上げるため、いつもより一所懸命練習をしています。

さて、発表会の前日。長男に「仕上げ具合はどうや」と聞くと、「9割はできた」とのこと。「残りの1割は?」と言うと、「後は会場のピアノとの相性かな」だそうです。